

■平成29年度水道事業決算

持続的・安定的な健全経営で

# 安全・安心な水をお届けします

経営課 ☎(63)7118

約2億円の純利益

9月市議会定例会で、平成29年度水道事業の決算が認定されました。総収益16億7731万円に対して、総費用14億7637万円で、差し引き2億94万円が純利益になりました。

この利益は、今後の水道施設の整備や借入金返済に充てます。

●表1 損益計算書

収益の部		費用の部	
営業収益	14億9,108万円	営業費用	13億7,830万円
給水収益	14億4,504万円	営業外費用	9,807万円
受託工事収益	932万円		
その他営業収益	3,672万円	費用合計	14億7,637万円
営業外収益	1億8,623万円	純利益	2億 94万円
合計	16億7,731万円	合計	16億7,731万円

複式簿記で財務管理

損益計算書(表1) 1年間にどれだけの利益または損失が生じたかを表したものです。

収益の部「給水収益」は、水道料金による収入で、水道事業の主な財源です。

貸借対照表(表2) バランスシートとも呼ばれ、年度末の財政状態を示したものです。

事業運営で得た財産の「資産」、事業運営のために必要とした借入金などの「負債」、事業運営における元手を

●表2 貸借対照表

資産の部		負債の部	
固定資産	172億7,611万円	固定負債	59億1,070万円
有形固定資産	172億6,804万円	流動負債	5億4,499万円
無形固定資産	807万円	繰延収益	33億2,139万円
流動資産	21億7,163万円	負債合計	97億7,708万円
現金預金	20億1,943万円	資本の部	
未収金	8,094万円	資本金	87億 211万円
貯蔵品	2,225万円	剰余金	9億6,855万円
前払費用	9万円	資本剰余金	2億3,087万円
前払金	4,892万円	利益剰余金	7億3,768万円
		資本合計	96億7,066万円
資産合計	194億4,774万円	負債・資本合計	194億4,774万円

●表3 企業債残高の推移

年度	金額
平成25	50億 272万円
平成26	49億7,381万円
平成27	51億2,974万円
平成28	54億4,802万円
平成29	56億7,589万円

意味する「資本」で構成されています。

企業債(表3) 浄水場の建設や配水管の布設など、水道施設整備のための長期借入金。平成29年度は、5億5010万円を新たに借りました。

年度末の企業債残高は、56億7589万円です。

## 下水道排水設備工事 指定業者の新規・更新 申請の受け付け

市内で下水道の排水設備工事を行う業者は、市の「指定業者」として指定を受ける必要があります。

指定を受けようとする事業者は、次の事項に留意の上、申請してください。

- 受付期間 12月10日(月)～平成31年2月28日(木)
- 受付場所 下水道施設課
- 主な資格要件

- ▼市内に営業所を有し、市税を完納している。
- ▼(公財)県下水道公社に排水設備工事責任技術者として登録を受けた者が、営業所に1人以上専属している。
- ▼工事に必要な機械器具を有している。

※申請用紙は下水道施設課でお受け取りください。なお、有効期間が平成31年3月31日で満了となる事業者には、別途通知します。

☎下水道施設課 ☎(88)9159



■水道管の凍結防止(マイナス4度以下は、要注意)

# 水道管の冬支度は万全ですか？

水道管は、気温がマイナス4度以下になると凍結するおそれがあります。水道管が凍結し破裂すると、普段以上の水道料金や修理費が掛かってしまいます。早めに水道管の凍結防止策を万全にしましょう。



凍結したら、タオルなどを掛け、「ぬるま湯」を掛ける

水道施設課 ☎(63)7131



■水道管の凍結を防ぐには

- ▼立ち上がり管が露出している箇所は、保温カバーや古毛布などを巻き、ビニールなどでカバーをする。
- ▼冷え込むときや長期間不在になるときは、水抜栓(不凍栓)を操作し、水道管の中の水を抜く。
- ▼水道管に凍結防止用の電熱線が巻いてあるときは、電源を入れておく。

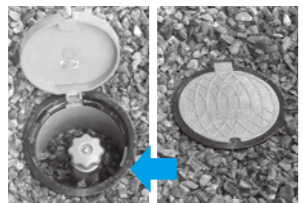
■水道管が凍結したら

凍結した箇所にタオルなどを掛け、その上からぬるま湯をゆっくり掛けます。

熱湯を掛けたり直火を当てたりす

■水道管が破裂したら

- ①水抜栓(不凍栓)を閉め、漏水を止める。
- ②破裂箇所には布やテープを巻くなどの応急処置をする。
- ③市の指定する水道業者(市指定給水装置工事業者)に修理を依頼する。



不凍栓の蓋を開けて操作してください

業者が分からないときは、水道お客さまセンター ☎(72)8168 にお問い合わせください。

■平成30年度上半期の予算執行状況

## 「選ばれるまちへ ともに歩む自治都市」 を目指して

— 効率的・適正な予算執行 —

企画財政課 ☎(88)9121

9月30日現在の一般会計予算の執行状況は、予算額467億3509万円に対し、収入済み額が180億3072万円(収入率38.6%)、支出済み額が148億5859万円(支出率31.8%)です。

●市民1人(1世帯)当たりの負担とサービス

区分	市税の負担	市民サービス
1人当たり	72,657円	193,655円
1世帯当たり	191,402円	510,149円

人口 76,727人、世帯数 29,126世帯

●会計別市債の状況

会計名	金額
一般会計	360億1,914万円
特別会計	
下水道事業	101億7,822万円
農業集落排水事業	51億2,583万円
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	1,276万円
勢至堂簡易水道事業	8,498万円

●予算執行状況 (9月30日現在)

会計名	予算額	収入済み額		収入率	
		収入済み額	収入率	支出済み額	支出率
一般会計	467億3,509万円	180億3,072万円	38.6%	148億5,859万円	31.8%
山寺土地区画整理事業	1,237万円	24万円	1.9%	480万円	38.8%
市営墓地事業	3,851万円	1,253万円	32.5%	1,777万円	46.1%
下水道事業	22億9,713万円	2億1,469万円	9.3%	6億8,438万円	29.8%
農業集落排水事業	7億8,882万円	6,880万円	8.7%	2億9,763万円	37.7%
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	627万円	135万円	21.5%	215万円	34.3%
特別会計					
中宿財産区	516万円	406万円	78.7%	224万円	43.4%
小塩江財産区	613万円	596万円	97.2%	90万円	14.7%
西袋財産区	1,384万円	903万円	65.2%	343万円	24.8%
長沼財産区	541万円	552万円	102.0%	20万円	3.7%
国民健康保険	85億4,790万円	34億4,294万円	40.3%	27億6,807万円	32.4%
介護保険	68億 660万円	30億6,816万円	45.1%	26億8,482万円	39.4%
後期高齢者医療	7億3,891万円	2億 536万円	27.8%	2億2,300万円	30.2%
勢至堂簡易水道事業	9,088万円	30万円	0.3%	65万円	0.7%

※金額には、前年度からの繰り越しなどを含みます。